

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2025 年

9 月

241号

秋
涼



◇病気は気からの真実
◇いつも感謝の言葉を掛けよう



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声かけの実践

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

～お知らせ～

行事法要のご案内

第33回 大観音まつり

10月26日(日)10:30 於：総本山真生寺



彦坂お施餓鬼法要
八月十三日(水) 総本山真生寺において、彦坂お施餓鬼法要を厳修した。真生寺開山以来、毎年地元彦坂ご町内の皆様が参拝され、今年も各家先祖の施餓鬼供養が厳かに執り行われた。読経・焼香の後、会長先生のご法話を聴聞された。

祈願後に建物の要所で題目三唱を唱え、塩・御神酒を撒き、お祓いをした。



工事の無事安全を祈りお祓い

**大阪教会新築建て替え事業
解体お祓いの儀**
七月二十九日(火) 大阪教会において、新築建て替え事業に伴う解体前のお祓いの儀を執り行った。総本山の田中教務長導師の下、大阪教会の大西教会長、信者と共に工事が無事安全に行われるように祈願を厳修した。

真生会御詠歌集く其の二く

観音大慈悲ごく詠歌に

寂光無畏の都より

苦海の吾等を助けんと

五濁悪世に示現して

慈愛のみ手をのべたもう

衆生の願いそのまに

この世未来の二世かけて

救わせ給うぞありがたや

施無畏のみ手にすがるべし

南無大慈観世音

十大願の海ふかく

今この娑婆に自現して



生きとし生けるもののため

大慈大悲の手をたれて

普く済度をなし給う

常づね菩薩を念ずべし

無量の福德あつまりて

如何なる障りも除くべし

南無大悲観世音



御詠歌は仏・菩薩・祖師を讃えるために歌われますが、真生会では法要・法座の始まりにご本仏様の御前において唱和し、奉納します。仏を讃嘆すると共に自身が素直に実践するところに真の幸せの道を歩んでいける賛歌です。

たなかひでひと

田中偉仁開祖さまのみ教え



ワイシャツの第一ボタンを掛け違えますと、途中は良くても最後には食い違ってしまう。第一ボタンである自分の今日やらねばならぬ使命を自覚しなければ、どんな苦勞をしても結果は理想と反し食い違いが生じます。誰にでも与えられた使命があります。これを知らずに我流で生活しているから、幸福から見離されてしまうのです。彼女に振られて意気消沈^{いきしょうちん}している青年に申し上げました。女性から見て魅力^{みりよく}ある男性とは、仕事に惚れ込んで汗を流し、血の出るような全力投球をしている姿です。仕事に不平不満で喜びの無い男の姿には嫌気^{いやけ}がさし魅力が無くなります。また、あなたは長男ですが、その使命は第一に親のことを考え、第二に兄弟姉妹の立場を考え、そののちに自分の事を考えてすべての行動をとるのが永遠不滅の大道です。

（1985年、真実に生きる52号より）

ご真教法話

会長 田中庸仁 たなか かつねひと



◇病氣は気からの真実

地球は太陽系の中で唯一生物が生存する奇跡の星です。

それは地表の七十％が海で覆われた「水の惑星」であり、海から生物が誕生しました。人間の体には三十七兆個の細胞があり、体重の三分の二は水分です。

水からの伝言（江本勝、著）に水に感謝の言葉やプラスの言葉を掛けるときれいな結晶になり、悪い言葉やマイナスの言葉を掛けると結晶が崩れ物が早く腐るといふ実験が多く載せられています。

私たちが何気なく発する言葉で体の水がきれいになったり、汚くなつ

て腐ったりするのです。

つまり、病気は自分の気持ち、吐く言葉によって作り出されるのです。自分が毎日使う言葉で健康になったり不健康になったり、子供が素直に育ったり、ぐれたりするのは日頃の声のかけ方、誉めているか、怒ったり責めたりしているかどうかに因^よるのです。

◇いつも感謝の言葉を掛けよう

日本人は古来より言葉には魂が宿る「言^{こと}霊^{たま}」として大切にする伝統文化があります。

この夏は四十度前後の猛暑日が毎日のように続き、十分な水分補給が叫ばれていますが、せっかく飲むなら、前向きな言葉・感謝の言葉を言いながら飲むと効果が違うでしょう。



《プラスの言葉》

うれしい、ありがとう、きれいだね、おかげさま、きっとできる、愛してる、大好き、だいじょうぶだ、がんばろう、○○しようね。…など

※人を誉め、認める言葉は、相手を喜ばせ、自分の細胞も活性化して健康体になり運も良くなるのです。

《マイナスの言葉》

つまらない、ダメ、きたない、どうせ無理、ばかやろう、あゝ疲れた、大嫌い、ちえつ（舌打ち）、イヤになっちゃう、○○しなさい。…など

※人をけなす言葉、否定する言葉を吐けば、自分も傷つき、運命もどんどん悪くなるのです。

先月号に掲載した清掃のパートにいつている七十一歳の男性が勤めて一ヶ月半ほど経ち、だいぶ慣れて来られました。が、体力的にはなかなかきついようです。

しかし、私が一心行で背中や腰を拝ませて頂くと、一年前に事故で腰

骨が大きくへこみ曲がっていたのですが、今ではほとんど真っ直ぐに治っているのです。

「〇〇さん、よく頑張つて見えますよ。仕事が終わった時に『あー、よく頑張った。ありがとう』と自分を誉めて上げるといいですよ。

《心があるじ、身はしもべ》と言いますから、主人であるあなたがしもべである体に感謝の言葉を掛ければ、三十七兆個の細胞が「よし、明日もご主人様に喜んでもらえるように頑張ろうと喜んで活性化しますよ」

「はい、わかりました。張り切つて前向きの言葉をつきながら頑張ります」と喜んで帰られました。

また、九十五才になるご婦人が、半月ほど前に



ご自宅に伺^{うかが}った時は、一人で立ち上がることもできず、歩くにも杖を突いてどうにか歩ける状態で、手に力はなく髪も梳^とけない、歯も磨けないという状態で「先生、急にこんなふうになってしまいました」と嘆かれるのです。

医者からは頭にも内臓にもどこにも悪い所はありませんが、極度の貧血ですから血になる食べ物をしっかり食べて下さいと言われただけで、何の治療もなく薬も出なかったのです。

「先生、何も悪い事をしてきた訳ではないのに、なんでこんなふうになってしまったのでしょうか。もうダメです…」と悲観的な言葉でした。このお宅は宿泊業を営んでおられましたが、コロナ禍以降業績も振るわず廃業され、その事が心の大きなショックになっているのです。

「だいじょうぶ。開祖さまの教えのように『きつと良くなる何とかなる』と前向きに考えましょう」と次の言葉をお伝えしました。

【言霊による運命好転の唱え言葉】

「み仏さま開祖さま、今日も新しい命、健康な体をお与え頂き、ありがとうございます」

「命がけになれば何とかなる。きっとよくなる。

相手を尊ぶ。人を悪く見ない。

先祖の苦しみ悪しき因縁、わが代で終わらせん。

新しき道を歩ませたまえ」

毎朝冷水で手を浄め顔を洗った後、鏡で自分の顔と目をしっかり見て笑顔で感謝する。

次に因縁が浄められ、流れ去ることをイメージしながら念を込めて唱えること。

そして毎日お経をあげ、小さな徳積みを続けることをお伝えしました。

数日後、開祖さまのご命日法座に親子でお参りに来られ、以前よりかなり元気な様子です。



「お陰様でだいぶ元気になりました。家の中なら杖を突かずに歩けるようになりました。先生、私の病気はこれでした。体のどこが悪いのではなく気持ちの問題でした」と一枚のプリントを出されました。そこには「神経障害性疼痛^{とうつう}」と書いてありました。大きな不安や怒りなどの強い精神的ストレスを慢性的に受けると、痛みを抑える脳のはたらきが低下して痛みを強く感じるようになり、痛みの悪循環^{おちい}に陥るのです。

しかし、否定的な考え方を打ち切り、新たな目標を持つことが出来れば改善するのだそうです。

病気も運命も気の持ち方、心の在り方が大きく影響するのです。人生の成功者と言われる人は、大きな試練や困難に直面した時こそ、成長の糧^{かて}と受け止め、「よし、頑張るぞ」と心をプラス思考に切り替え、大きな障壁^{しょうへき}や谷底から立ち上がった人たちなのです。

人生は一念三千^{いちねんさんぜん}（自分の強い思いが現象として現れる）言った通り思った通りになるのです。

先師の名言、名句



人は二度死にます。

一度目は臨終^{りんじゆう}、二度目は家族や友人から忘れられた時です。長生きはしても寝たきりや認知症で意思疎通^{いしそつう}ができない人もあり、最後まで意志が伝わり、自分らしく生きるとは至難^{しなん}の業^{わざ}です。最近は家族の絆^{きずな}が希薄^{きはく}になり、同居していても会話がな^{うば}い「孤老^{ころう}」が増え、老人ホームは姥捨て山^{うばすてさん}となり、生きながらにして二度目の死を迎えている人が増えています。

開祖さまは、文字通り亡くなるその日までご信者に会い、法を説き続けられました。「死ぬまで生きる」は開祖さま晩年の生き方そのものでした。

今月の運勢（10月）

（2025年10月8日～11月6日）

一 白水星

新しいものを生み出すには絶大なエネルギーが要り、予測不能の生みの苦しみが伴う。それを乗り越えてこそ苦労が喜びに変わる。急ぎ過ぎるとつまずく。軽口や言葉使いに注意すること。

二 黒土星

前進伸長をさえぎるものはないが、隠れたりスクに備え、理想に向かってコツコツと積み上げること。目上を立て志を合わせて着実に進めば安心。好調な時ほど誠意を失わないこと。

三 碧木星

周囲から注目される所にいる。力は充実しているが八方塞がりの状況なので、派手な行動や新しいことを始める時ではない。じっくり腰を落ち着けて更なる力を蓄えよう。

四 緑木星

思ったほどの成果が出なくても言い訳や文句を言わないこと。想定外の停滞でイライラするが、次なる展開への貴重な蓄えと受け止め、今に良くなると言い続けよう。

五 黄土星

今日までの成果と収穫が得られる時。家族や仲間と食事会などの楽しい出会いを持つと良い。但し、気が緩んで相手を腐らせたり失望させないように言葉には気を付けよう。

六 白金星

逃げるが勝ちの時。どうしても意見が通らなければ、情勢を冷静に分析し、逃げる判断も視野に入れておこう。但し、立つ鳥跡を濁さず。引き際の美学を忘れないように。

七 赤金星

中途半端ではなく根本的改革の時。周到に準備し、周りを巻き込み、誠意と大胆さと根気強さで進めること。過去の過ちに気付いたら即座に改め、まず自らが鮮やかに変わること。

八 白土星

自分の未熟な面を常に探し、良き手本を見つけて学ぶこと。自分の未熟さに気付けば成長する。変わるものと変わらないもの、どちらも大切。風の音にも学ぶ人あり。

九 紫火星

日の出の勢いの時。頂上を目指して決して焦らず堂々と勇氣をもつて突き進もう。明るさと素直さを持ち続けて進むことが成功につながる。勝負の時が来たら迷わず進めば道は開く。

「まごころ誌代」御礼

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

松尾定洋	田中宏明	滝本光夫	横山知津子	堀田純子
多田佳央	田中花音	岸本昌子	山本季美衣	村上視佑記
鈴木快法	亀井善広	岸本しげ子	佐藤百々枝	宮島りえ
宮田雄貴	亀井由実子	岸本周夫	佐藤光洋	大下裕子
山部眞一	熊田啓予	東森敦己	伊東 晃	樋口恵美子
加藤祐記子	足立和美	東森弘和	安田初子	樋口容子
豊田直正	高橋身衣	広田えり子	滝山恵依子	坪井祥子
豊田真悠子	堀部恭利	亀井善二	正木みつ子	林田早紀子
後藤千代子	堀部祐美衣	山田佳延	荒木敬依子	出田 渚
田中庸仁	早野起世	土川順寛	坂本育身	谷口祐晟
田中佑季子	京川春男	土川恭代	出田 梓	谷口祐子
田中祥陽	鈴木正巳	土川康二	小村友子	三谷衣里
田中理夏子	福元正子	土川廣美	平口富子	大西啓依子

《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円 / 月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

しあわせ眼鏡

「有り難う」は幸せを招く魔法の言葉。

どんな小さなことでも、人にしてもらったら

「ありがとう」と言いましょ。

あなたは一日何回言えていますか？

お気軽にご連絡ご相談下さい

【総本山真生寺】 〒 501-1105

岐阜市彦坂 178 番地

T E L 058 - 235 - 7304

【岐阜教会】 〒 500-8882

岐阜市西野町 3 - 19

T E L 058 - 262 - 9615

【大阪教会】 〒 532-0028

大阪市淀川区十三元今里 3-4-10

T E L 06 - 6308 - 5637

【名古屋教会】 〒 454-0808

名古屋市中川区九重町 3 - 10

T E L 052 - 351 - 3904

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします